

研究主題

主体的に学び、思いや考えを伝え合う子供の育成

～ 国語科 言語活動を重視した授業実践を通して ～

1. 学校教育目標の具現化から

教育目標……………「豊かな心を持ち たくましく生きる子供の育成」

→重点努力事項から【毎日の授業の充実】

\*分かる授業づくり \*明確なめあて \*課題に迫る中心発問  
\*友達の意見をしっかり聞き、書いたり話したりする場を意図的に設定した授業を行う。  
\*互いの考えの違いを理解し認め合い、必要に応じて新たな考えを生み出す授業作りに努める。

協働型重点目標……「人とかかわり 自信をもって生活できる子供の育成」

\*子供同士の伝え合う教育活動を積極的に取り入れていく。  
\*教職員が率先して子供のがんばりを認め、ほめていく。

2. 新学習指導要領より

○国語科改訂の趣旨 ～抜粋～

- ・言葉を通して的確に理解し、論理的に思考し表現する能力の育成
- ・互いの立場や考えを尊重して言葉で伝え合う能力の育成
- ・基礎的、基本的な知識・技能を活用し、相互に思考を深めたりまとめたりしながら解決していく能力の育成

○国語科改訂の要点 ～抜粋～

\*学習過程の明確化 \*言語活動の充実 \*学習系統性の重視

→ ※ 本校の研究の視点に位置づける

3. 桂小 研究主題・研究目標のとらえ

研究目標

主体的に学びながら、自分の思いや考えをもち、互いに伝え合う力を育てる  
国語科指導の在り方について言語活動を重視した授業実践を通して明らかにする。

主体的に学ぶ とは？

課題意識を持ち、自分の思いや考えを大切にしながら論理的に追究し、表現すること

伝え合う力 とは？

人と人との関わりの中で、互いの立場を尊重し、目的や意図に応じて適切に表現・活用すること

言語活動 とは？

「話すこと・聞くこと」「書くこと」及び「読むこと」の領域を連関させながら、段階的・螺旋的に向上していく表現活動